

大学・高専機能強化支援事業
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2大学】
事業概要

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F144110111418
大学名	大分大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	大分県
申請形態	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）		

1.事業概要

デジタル社会におけるリーダーとして潜在的課題を発見し、効果的な解決を図るだけでなく、**新しい付加価値の創造を主導できるDX人材を養成**するため、理工学部「DX人材育成基盤プログラム（以下「基盤プログラム」）」（R6設置、入学定員40名）及び大学院理工学研究科（R7改組予定）博士前期課程「情報・数理・データサイエンスプログラム「高度実践系」（R7設置、入学定員10名、R10増員）から成る「**DX人材育成プログラム**」をR6年度に新設予定である。「基盤プログラム」では、DX推進の基盤スキルを修得し、研究科の情報系コア科目の先行履修を必須とする。その上で、「高度実践系」において、DX推進の土台となる、「データサイエンス」「IoTソリューション」「情報ネットワーク・セキュリティ」の各スキル領域において、**自治体・県内企業と連携して実施予定のフィールドワーク型演習科目も含めた高度な大学院科目を展開し、実践的スキルを修得する。また、安定的なDX人材確保のための「生涯教育ループ」の確立**に向け、高校生や社会人のニーズと既存スキルに応じたビュッフェ型マイクロレデンシャル（短期間で特定の領域を学び、その学修歴を証明する仕組み）を設定・提供する。小中高生向けにSTEAM教育科目を提案・実践することにより、地域内におけるDX人材確保の裾野を広げる。さらに、学内施設をリノベーションし、**先進的な学生教育や研究等に使用できるデジタルワークスペースを整備**することとしている。

2. 基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前		56	56	240
	増員後		96	96	400
	増分	0	40	40	160
大学の全組織の収容定員	増員前	153	370	523	
	増員後	153	410	563	
	増員前	0.0%	15.1%	10.7%	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員後	0.0%	23.4%	17.1%	
	増分	0.0%	8.3%	6.3%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系				
		計	0	0	
	情報系以外				
修士	情報系	大学院工学研究科工学専攻知能情報システム工学コース	28	56	R7募集停止（予定）
		計	28	56	
	情報系以外	大学院工学研究科工学専攻機械エネルギー工学コース	26	52	R7募集停止（予定）
		大学院工学研究科工学専攻電気電子工学コース	26	52	R7募集停止（予定）
		大学院工学研究科工学専攻応用化学コース	25	50	R7募集停止（予定）
		大学院工学研究科工学専攻福祉環境工学建築学コース	18	36	R7募集停止（予定）
		大学院工学研究科工学専攻福祉環境工学メカトロニクスコース	12	24	R7募集停止（予定）
		計	107	214	
学士	情報系	理工学部理工学科知能情報システムプログラム	60	240	
		計	60	240	
	情報系以外				
		計	0	0	

※情報系組織の改組・増員に関わる組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系					
		計	0	0		
	情報系以外	改組前との差	0	0		
		計	0	0		
修士	情報系	大学院理工学研究科理工学専攻情報・数理・データサイエンスプログラム（情報・数理系）	18	36	R7設置	大分県大分市
		大学院理工学研究科理工学専攻情報・数理・データサイエンスプログラム（高度実践系）	30	60	R7設置、R10増員	大分県大分市
		計	48	96		
		改組前との差	20	40		
	情報系以外	大学院理工学研究科理工学専攻先進機械システムプログラム	38	76	R7設置	大分県大分市
		大学院理工学研究科理工学専攻物理・電気電子プログラム	25	50	R7設置	大分県大分市
		大学院理工学研究科理工学専攻応用化学プログラム	22	44	R7設置	大分県大分市
		大学院理工学研究科理工学専攻地域デザイン・建築学プログラム	22	44	R7設置	大分県大分市
		計	107	214		
		改組前との差	0	0		
	情報系	理工学部理工学科DX人材育成基盤プログラム	40	160	R6設置（プログラム）	大分県大分市
		理工学部理工学科知能情報システムプログラム	60	240		大分県大分市

学士		計	100	400		
		改組前との差	40	160		
	情報系以外					
		計	0	0		
		改組前との差	0	0		

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なもの6つまで）					
博士							
修士	大学院理工学研究科理工学専攻情報・数理・データサイエンスプログラム（情報・数理系）	理学関係	工学関係				
	大学院理工学研究科理工学専攻情報・数理・データサイエンスプログラム（高度実践系）	理学関係	工学関係				
学士	理工学部理工学科DX人材育成基盤プログラム	理学関係	工学関係				

<基本情報>

改組内容：研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員

情報系組織名：＜学士＞理工学部理工学科DX人材育成基盤プログラム

＜修士＞理工学研究科理工学専攻情報・数理・データサイエンスプログラム（高度実践系）

情報系組織の入学定員：＜学士＞【R6新設】改組後40名

＜修士＞【R7設置・R10増員】改組後10名 → 令和10年度に30名に増員

所在地：大分県大分市

<新設のコンセプト>

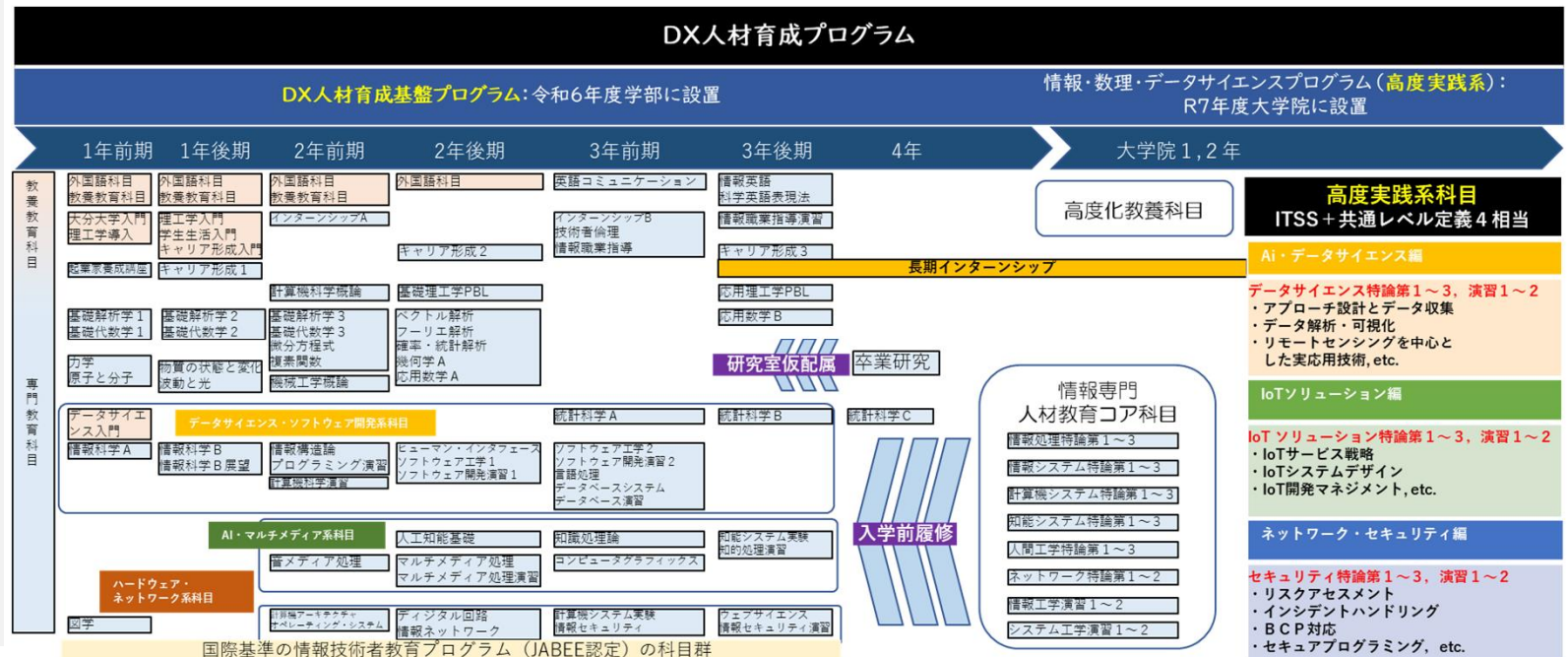
学部と大学院の連動した「DX人材育成プログラム」において、災害やパンデミックを含む不確実で変動の著しい社会の維持・発展のために求められる、DXを前提とした第4次産業革命に必須の実践的スキルを有した人材を育成する。

<新設の特徴・PRポイント>

自治体や地域の情報産業団体との密接な連携による生涯教育ループの確立

- ・大分県科学技術振興指針ならびに県内企業等の人材不足の実状を踏まえた人材育成の取り組み
- ・県内企業等と連携した実践的フィールドワーク演習科目の開講
- ・地域のDXニーズの掘り起こしと修了者の就職マッチング
- ・大学院進学者に対する経済的支援計画
- ・高校生や社会人のニーズと既存スキルに応じた受講を可能にするビューフェ型マイクロレディンシャルの提供
- ・小中高生向けのSTEAM教育科目の提案

情報産業はもちろん、地域に特有の宇宙港ビジネス、農業、水産業、林業など各種産業を対象とした、DX推進に必要なスキルを有する人材を育成



<改組後の教育内容と整備計画>

- ・学部では、情報系技術者教育の国際的枠組みに準拠したJABEE認定教育プログラムに則った卒業認定レベルを採用することに加えて、大学院でのコア科目を先行して学修（選択必修、院への進学要件）
- ・大学院では、IT人材スキルの強化・変革の土台である、データサイエンス、IoTソリューション、及び情報ネットワークとセキュリティの3領域で、“学び直し”の指針ITSS+（IPA策定）共通レベル定義のレベル4相当のスキル修得を目指した『高度実践系科目』を提供
- ・学部の既存情報系教育プログラムへの志願意向アンケート結果より十分な志願者を見込み、研究科では、既存プログラムの充足率も踏まえた定員シフトを行い、学部在学生の進学意向調査結果から十分な進学希望者がいることを確認
- ・既存情報系プログラムにおける実務家教員に加えて、実務家教員（5名）を新規配置。さらに、学内施設をリノベーションし、データ分析シミュレーションシステム、実践的IoT実験システム等、先進的な学生教育や研究等に使用できる教育研究環境を整備